

施策番号	1702		
施策名	保健医療サービスの充実		
概要	医療の高度化に対応した専門的な人材の養成・確保，ニーズの多様化・高度化に対応した保健医療サービスの充実，市立病院及び市立京北病院による充実した医療サービスの提供を図る。		
担当局・部室	保健福祉局・医療衛生推進室	共管局・部室	
上位政策	17 保健衛生・医療		
施策に関係する 主な分野別計画等	地方独立行政法人京都市立病院機構年度計画 京都市病院事業改革プラン		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		平成 30年度	令和 元年度	令和2年度評価					
				前回数	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	地方独立行政法人京都市立病院機構年度計画の達成状況(%)	a	a	100	100	100	100.0%	a	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
客観指標総合評価		a	a					a	

2 市民生活実感評価

設問		平成 30年度	令和元年度							令和 2年度 ※
			評価	そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数	
1	利用しやすく頼れる医療や検診の機関がある。	b	a	165 23.7%	321 46.1%	151 21.7%	36 5.2%	23 3.3%	696	-
2	-	-	-							-
3	-	-	-							-
4	-	-	-							-
5	-	-	-							-
市民生活実感調査総合評価		b	a							-

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により調査を一時休止しています。

＜総合評価＞

平成30	B	令和元	A	令和2	A	施策の目的が十分に達成されている
重み付け	☐ 客観指標	保健医療サービスは市民の日常生活に密着したものであり、市民において充実度を実感しやすいことを踏まえ、市民生活実感評価を重視する。				
	☒ 市民の実感					

＜原因分析＞

客観指標総合評価

- ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。
☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。

市民生活実感調査総合評価

- ☒ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。
☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。

今後の方向性の検討

＜この施策を構成する事務事業＞（令和元年度又は令和2年度新規事業）

	事業名	事業費の状況(千円)		令和2年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		令和元年度 決算額	令和2年度 予算額		
1					
2					
3					
4					
5					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

＜今後の方向性＞

- ・市立病院においては、独法化以降整備・充実させた医療機能を生かし、政策医療を中心に高度な急性期医療を提供する。
- ・京北病院においては、市立病院との一体的運営を進めるとともに、訪問診療・訪問看護の展開による在宅医療機能の強化等、引き続き、地域に根差した医療・介護を提供する。
- ・新型コロナウイルス感染症対応においては、京都市の帰国者・接触者相談センターと連携しつつ、積極的に患者を受け入れ、治療に当たっていく。

施策名	1702	保健医療サービスの充実					
指標名	地方独立行政法人京都市立病院機構年度計画の達成状況 (%)						
担当課	医療衛生企画課		連絡先	7 4 6 - 2 8 6 6			
1 指標の説明							
地方独立行政法人京都市立病院機構年度計画（以下「年度計画」という。）における取組状況の達成度							
2 指標の意味			3 算出方法・出典等				
保健医療サービスの充実のうち、「市立病院及び市立京北病院による充実した医療サービスの提供」の取組について示す指標			地方独立行政法人京都市立病院機構評価委員会による年度計画の業務実績評価結果				
4 数値							
	前回数値 平成30年度	最新数値 令和元年度	推移	目標値			
				数値	根拠	達成度	
数値	100	100	増減なし	100	当該年度達成すべき数値	100.0%	
	全国順位	中長期目標				備考	
		数値	目標年次	達成度	根拠		
数値	-			-			
5 評価基準		6 基準説明			7 評価結果		
最新数値の目標値に対する達成度が a: 90%以上～100%達成 b: 80%以上～90%未満達成 c: 70%以上～80%未満達成 d: 60%以上～70%未満達成 e: 50%以上～60%未満達成		評価結果については、外的要因も影響するなかで、38項目と多岐にわたる評価項目の総合結果の数値を、90%以上維持することは、当該年度計画を十分に達成したものと言えることができるため、90%以上達成をa評価とした。			平成30	令和元	令和2
					a	a	a